

第34回維持管理・環境管理専門委員会 議事録

●日時 : 平成31年2月7日(木) 13:30~15:30

●場所 : 上尾市文化センター 202集会室

●資料

資料-1. 前回の議事録

資料-2. H31年度の維持管理活動について

資料-3. H31年度以降の工事について

資料-4. マーケットリサーチについて

資料-5. 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」新旧対照表(案)

資料-6. 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」改定(案)

参考資料-1. 目標種の選定と整備の経緯

【議事結果】

- ① H31年度維持管理活動計画、H31年度以降の工事、H31年度のマーケットリサーチに関する事務局(案)を了承する。これらを第49回協議会へ提案する。
- ② 第49回協議会に「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」一部改定(案)を提示し、その後に意見照会を行う。その後、第50回協議会で一部改定を承認する予定とする。
- ③ 新たに設置された看板の維持管理は、外部へ協力を呼び掛けていきたい。特に、自治体に相談したうえで、自治会長等の協力が得られるか検討する。
- ④ これまでの維持管理活動に参加された方や、イベント参加者で維持管理に関心を示された方には、維持管理作業への参加を呼び掛けていく。
- ⑤ 下池の民地にあるシンジュの大木の駆除作業については、自治体に相談したうえで、土地所有者の協力(同意)が得られるか検討する。駆除作業としては、「巻き枯らし」が考えられる。
- ⑥ トウグワ、クズ、キツタ等は、問題となっている箇所があれば個別に対応する(中池管理用通路のクズにより歩行に支障がある区間等)。
- ⑦ 中池の広場部分については、重機等を用いて植生をリセットし、今後の景観づくりに繋げていく方向で検討を進める。

【主な議事内容】

●前回の議事録について

- ・ 前回の議事結果④について、川島委員より報告があった。
 - 1月26日の生涯学習団体の会議の場では、太郎右衛門自然再生地の紹介ができなかったが、団体の関係者に協力要請を行った。

●H31年度の維持管理活動について

- ・ 新たに設置された看板の維持管理は、外部へ協力を呼び掛けていきたい。特に、自治体に相談して、自治会長等(地元の有力者)の協力が得られるか検討を進める(太郎右衛門自然再

生地から近い川島町、桶川市内を想定)。

- ▶ 植生管理というよりは「看板周りを手入れすること」を前面に出した表現の方が協力者を募りやすい。
 - ▶ 呼びかけのための簡単なパンフレットがあると良い。
 - ▶ 太郎右衛門自然再生地にそぐわない状態で管理されること（花壇にする等）のないように注意は必要である。
- ・ これまでの維持管理活動に参加された方や、イベント参加者で維持管理に関心を示された方には、維持管理への参加を呼び掛けていく。
 - ・ 2月6日の巡視結果も踏まえ、H31年度維持管理活動計画についての事務局（案）を了承する。これを第49回協議会に提案する。

●H31年度以降の工事について

- ・ 下池の民地にあるシンジュの大木は、何か対策をしたい。
 - ▶ 自治体に相談したうえで、土地所有者に対して駆除作業への協力（同意）をお願いすることはできるかもしれない。同意を得られた場合、工事で伐採等を行うのは難しいため、協議会委員で「巻き枯らし」を実施するなどの方法が考えられる。
- ・ シンジュ、トウグワ等は、1～2年のものは抜きとりが容易だが、それ以上になると伐採すると多数の株となってしまい駆除が難しくなる。目についた個体は随時抜き取りしておくことが望ましい。
- ・ トウグワは、外来種のため本来は駆除対象である。しかし、本種の下層は在来草本が生育することが多く、むやみに伐採すると外来草本が侵入して逆効果となる可能性がある。また、実が鳥やミドリシジミの食物として重要となっている現実がある。このため、画一的に駆除対象とするのではなく、個別に問題がある場合に対応する方針とする。
- ・ 下池整備地の水路沿いのタケ類については、防根シートを入れられれば良い。
- ・ 上池の旧流路の堤防部分や下池の掘削地横のまとまった竹林については、荒川で減少しているサギ類のコロニーとなり得る可能性があるため、このまま様子を見る。
- ・ クズは、通路にはびこると足を取られて危険であるため、そのような場合は除去する。
- ・ キツタは、倒木を引き起こすことがある一方で、特に冬季はその実が鳥類の食物として重要となっている面がある。このため、倒木を引き起こす危険がある場合は、除去する。
- ・ 中池の広場部分については、重機等を用いて植生をリセットし、今後の景観づくりに繋げていく方向で検討を進める。
 - ▶ 現状、オオブタクサやクズが繁茂しているが、少しずつ対応していくのでは、再び繁茂してしまう可能性が高い。在来草本と富士山が見える景観という目標に向かって、根の部分を含めて除去した方が良いと考えられる。
- ・ 2月6日の巡視結果も踏まえ、H31年度以降の工事について（下池の掘削および課題のある場所の整備方針）の事務局（案）を了承する。これを第49回協議会に提案する。
- ・ 第49回協議会に提示する資料については、委員長と事務局で調整し、必要があれば委員に個別に相談して進める。

●マーケットリサーチについて

- ・ 川島委員からの情報として、埼玉県内の中小企業向けのコンサルタントを行っている会が、H31年度の環境経営に関する研究テーマとして、太郎右衛門自然再生地を取り上げたいとのことである。2月28日に川島委員が会の関係者の訪問を受ける予定である。先方へ提示する資料が必要な場合は、事務局より提供する。
- ・ T専門学校とは引き続き協議を進めていく。専門分野のデザインを活かしていただけることの期待に加えて、若い人が関わってくれることにより、地元の若い方々への刺激になることも期待したい。
- ・ T小学校については、学校の検討結果を受けてから具体的な進め方を検討する。
- ・ H31年度マーケットリサーチについての事務局（案）を了承する。これを第49回協議会に提案する。

●「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」一部改定（案）について

- ・ 前回の議事結果に基づき、修正が進められたことを確認した。
- ・ 第49回協議会に一部改定（案）を提示し、その後に意見照会を行う。その後、第50回協議会で一部改定を承認する予定とする。

以上